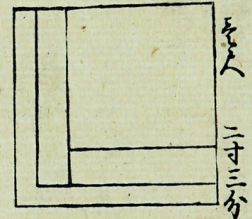


入用平并本之御者二階三平
十六横并并終て百千分十得之
高寶法廉
三三三引
三三三引
六三三
三四三
四三三
二二二
二二二
倍
倍
考して百歩之下、送る扱
法一人、置ても一人を自圓
高寶法廉
百歩実心減
止余其相
辛歩二應
九有り扱
法と倍平
二天これと
一行下て
廉三行下
高二寸と之
法と寸と加
二天寸是と
今之高寸と
乘三十四減

考して百歩之下、送る扱
法一人、置ても一人を自圓
高寶法廉
百歩実心減
止余其相
辛歩二應
九有り扱
法と倍平
二天これと
一行下て
廉三行下
高二寸と之
法と寸と加
二天寸是と
今之高寸と
乘三十四減



は固して
あつて

又云くを、歩敷す歩、付は、人、二寸二分同
歩、付は、拾分同二分、之、人、五、万、千、百、拾
九、歩、付は、百、歩、三、百、四、百、五、百、六、百、七、百、八、百、九、百、十、百、同
寸、歩、千、五、百、拾、分、歩、九、分、十、位、同、歩、法
の、尺、敷、同
是、と、二、尺、八、寸、八、分、九、厘、六、毫、不、盡、八、忽、四、微
御、云、右、向、法、只、以、の、尺、寸、位、お、違、斗、ら

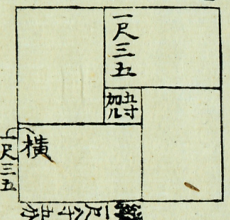
尺敷も、お、違、有、之、もの、之
今、銀、六、尺、横、三、尺、の、板、は、何、敷、と、倍、之、
右、形、は、何、敷、と、倍、之、何、敷、と、倍、之、何、敷、と、倍、之、
横、何、敷、と、倍、之、
是、と、二、尺、八、寸、八、分、九、厘、六、毫、不、盡、八、忽、四、微
御、云、右、向、法、只、以、の、尺、寸、位、お、違、斗、ら
尺敷も、お、違、有、之、もの、之
今、銀、六、尺、横、三、尺、の、板、は、何、敷、と、倍、之、
右、形、は、何、敷、と、倍、之、何、敷、と、倍、之、何、敷、と、倍、之、
横、何、敷、と、倍、之、
是、と、二、尺、八、寸、八、分、九、厘、六、毫、不、盡、八、忽、四、微
御、云、右、向、法、只、以、の、尺、寸、位、お、違、斗、ら

高	實	法	廉
	三	三	一
三		二	
二			
一			

又三寸四寸
止茶七寸二分
九寸五分有り
六寸二分倍
二尺四寸感て
一行下り
分を法に七三分加て二尺四寸三
分と成廉に二行有り扱又今分を
三分法と乘二二寸六寸減三三
一寸二分減三三九寸感高一尺
二寸三分者方面

帯後同平と異例有り
室を元尺後合の在書し
貳百四拾九寸七分を縦横

之差五寸下如左
積と四尺倍々九百九拾
歩一帯縦六寸目因
二十五歩と加一供二千。
二十四歩とるま帯し
同平法と條と得三二寸と
寸内より先守り得り二尺
七寸と二寸五分割横三二寸五
分と加へ縦横分定一知
左二尺二寸五分守り加二尺
七寸と感と
二寸割て
縦分目分
左の物定
は圖を二知

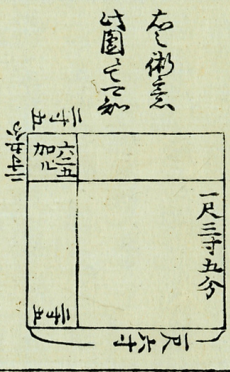


帯後同平と異例有り

又別法より右縦六尺と左合是と一倍
同平法より左縦六尺の尺と感
又横分定一尺と感と右横三尺と合是と
一倍より同平法と感と横一尺と感と
左の尺と右の尺と感と感と感と感と
又さうして三尺六寸と三拾同六拾同と尺六
寸と感と八拾同の余は貳同余と感と
又二百の六百の尺八拾同八同余四百
四同余と感と感と感と感と感と
寸歩貳百四拾九寸七分を帯と縦より
横と五寸換くして縦横何程元感と感と

帯後 縦三尺八寸五分 横一尺三寸五分
感と感と感と貳百四拾九寸七分を帯と感と感と
高と感と感と感と感と感と感と感と感と感と感と
又帯縦六寸と今の帯に五拾歩と
感と感と感と感と感と感と感と感と感と感と感と
感と感と感と感と感と感と感と感と感と感と感と感と
十七今の二寸と加貳尺二寸と感と感と感と感と感と
感と感と感と感と感と感と感と感と感と感と感と感と感と
歩一三この九歩一又帯縦の寸と今
感と感と感と感と感と感と感と感と感と感と感と感と
分帯と感と感と感と感と感と感と感と感と感と感と感と感と

又別物と云く是守守守守守守
 五寸と自因メ六寸守守守守守守
 横は加付の二百守守守守守守
 一周年法添得二尺守守守守守守
 五寸守守守守守守守守守守守守
 三寸守守守守守守守守守守守守
 又守守守守守守守守守守守守
 横二尺八寸五分八分



右の御意
 左の御意
 付圖で云ふ
 一尺三寸五分
 右の御意
 左の御意
 付圖で云ふ

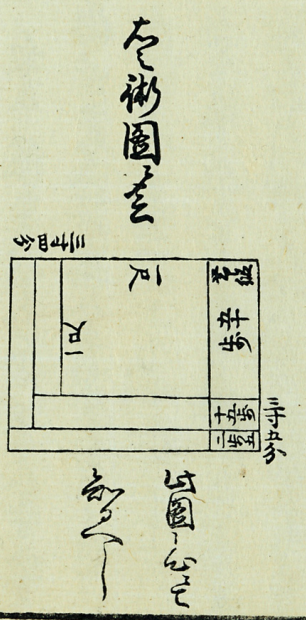
用五者初めは考て六の
 尺三寸の長九の短を
 尺三寸より廉湯し引ず
 逐て尺三寸を引ずらば
 一のこゝろ見一の割と
 してて九人の五のわつと
 仕く割たをさすやと
 知付るぬくの法或は
 尺三寸一尺四寸とす
 或は一尺三寸とす
 或は一尺二寸とす
 或は一尺一寸とす
 或は一尺とす
 或は九寸とす
 或は八寸とす
 或は七寸とす
 或は六寸とす
 或は五寸とす
 或は四寸とす
 或は三寸とす
 或は二寸とす
 或は一寸とす
 或は五分とす
 或は三分とす
 或は二分とす
 或は一分とす

用五法式

再自乗号

- 〇 一一一
- 〇 二二二
- 〇 三三三
- 〇 四四四
- 〇 五五五
- 〇 六六六
- 〇 七七七
- 〇 八八八
- 〇 九九九

ある人守と二倍メ今の守と加メ人
 六寸守と加付と云ふ守と九寸守
 二五の十守に五寸と云ふ守に五五の二守五
 守守守守守守守守守守守守
 の二守守守守守守守守守守守守
 守守守守守守守守守守守守
 守守守守守守守守守守守守



右の御意
 左の御意
 付圖で云ふ
 一尺

八分六厘七毫と定むる重
 別之の以て一人と定むる
 て重再自因して千坪引
 去る八百六拾坪。八六七の
 以て後と定むる。八分六厘
 二二因メ三百あり。故も七
 一初刻智メ二寸と考へ
 板厚を二尺二寸と重は初
 板厚より今二寸と自因
 メメと一尺二寸と三因も
 の一尺と重は三六四故も

一七五と一初刻二寸も
 二十と極る重を百廿二坪八
 六七の二寸もと定むる。八
 分六厘七毫と定むる。初刻
 一七五と考へ。法は二尺二寸と
 重は初刻より二寸と考へ
 自因メ又二寸と三因一
 一七五と定む。法は二尺二
 九分六厘七毫と定む。初刻
 一七五と定む。一人と定む
 分と定む。

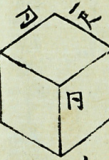
曾國定

一位之
 數号
 十位之
 數号
 百位之
 數号

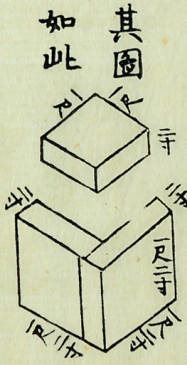
塵微毫一千兆埃洞極
 沙忽厘十万京穰正
 埃纖糸分百億行溝載
 寸坪千八百六拾坪。八分六厘七毫と定む
 一位用之法。用方尺何程と旨

吾云方を二人二寸二分

初より重を千八百六拾坪。八分六厘七毫と
 置もと定む。重は初刻より二寸と考へ
 沙の八百六拾坪。八分六厘七毫と定む

其圖

 一七五と一尺二寸と重

是の初もと定む。重は初刻より二寸と考へ
 一七五の高を二人二寸と定む。重は初刻より二寸と考へ
 一七五の初もと定む。重は初刻より二寸と考へ
 一七五の初もと定む。重は初刻より二寸と考へ
 一七五の初もと定む。重は初刻より二寸と考へ
 一七五の初もと定む。重は初刻より二寸と考へ



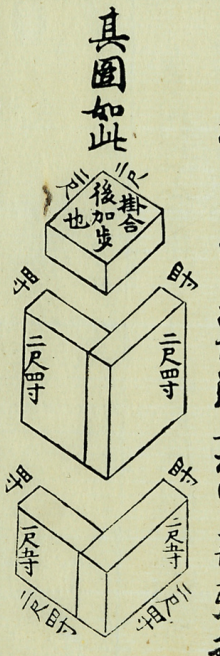
一七五の初もと定む。重は初刻より二寸と考へ
 一七五の初もと定む。重は初刻より二寸と考へ

口の才は幾今このすく
又もを井の源と幾源と和
そ半分井文合とま方二
千五百坪見開之除得武
三三〇七九とま九平の台付
とけ今この口のすく源との
すく今このすく也
何程くれと幾ととも和
の心は月志と半程長程
桶す切くれ水程程
多ふ水及と幾程程
柳子約物多くれととも
和幾く幾は通てつる和
坪と或は倍と幾ととも
又は何割と幾坪ととも

ぬは牙たき也と考と
たか何ととも坪と幾
直又好財の和と一方は
再自固又倍とわと用
之は除との相幾其
直と幾と又幾坪と相
幾坪とわと一方は
再自固と幾と幾と
又わと和幾坪と除其
幾と坪とわ再自固
之と除とわと其
之和幾と幾と幾と
と可幾と

と加八人守と幾は初は二
守と幾千〇二十六と又初は
合皆ありと幾は千〇五十六と
加千皆六拾六と幾は今と守
と九九と一四と四千坪引四の
百坪引四と幾百坪引四の
引又帯幾の初は初は初は
守と初はと加八人守と幾は
今と守と幾百七拾六と幾は
幾と守と九九と百と初と
二と千坪引四の五百坪引七拾と初と

一七の七百坪引五七と三百拾坪引
と初と二六と六坪引五六の三坪引
其圖如此
右は好り坪と付は位として
小三拾九間九二百拾るよ三百九拾間
九和得也と初は相幾帯幾と初と
と幾道有幾は幾と
幾合米と幾と年と幾と年と幾と
和利と幾と六と七と幾と初と幾と



本書は換二万二千四百六
 十四坪之美と並ぶより上と
 柳之位と考へるも二人と
 再自因メ八千坪減し又
 商自因之常限一尺守と
 乘六千坪之方減之
 止余八千四百六十四坪美
 有 扱法を右に初も二人と
 並ぶと定之と乘六尺是
 常限倍之三尺加九人と
 減是れも二人と乘を千
 八百あり減して美と
 一柳除公メはくも守と
 尺之扱今は法千八百歩
 と扱を并して別は法初也

商二尺四寸と之新扱
 有り今し守と自因
 上二尺守と定之と因
 又初商二人と乘千四
 百五十六歩と扱初も
 二人四寸 初も二人と加
 八尺守と減是れ常
 限一尺守と乘六百六
 十歩と減是れ常限
 加法三千百十六歩と
 是法以て美と除定
 二とも守と知り
 六石六年六拾石と
 有是八采六石と六年倍
 之利六十石と減之候へ

和利乘實除高之次第

曾圓是抄二

利是より商り候へ同
 答云 八式和利より商り
 柳と本利より六石と並ぶ
 別は二と減は内一は本二利是と
 限令米五石と貳年より本利も小
 七石貳斗と七歩付何刻より商り同
 答云 右同也
 柳と本利より七石貳斗と並ぶ
 与刻は二年半并と減は内四年半
 限令五石と三年より本利は八石半
 并より付何刻より商り同

答云 右同也
 柳と本利より八石六斗并と並て
 六石と刻は二七二八と減は内三年
 限令五石と四年より拾石三斗六升八合
 より付何刻より商り同
 答云 右同也
 柳と本利は九拾石三斗六升八合と並
 六石と刻は二七三六と減は内四年
 法は二と減除り
 限令五石と六年より拾石五斗并一合
 より付何刻より商り同

はわ利と旨

旨云 罰五分より四六一
 術云 六拾名と六名と利十
 位と用年と除入其上と一
 位と用年と除一四七二〇四
 六八一と除は内えく分ぬの
 一と引除と和利くわく
 車傳りてたくと六今ま
 拾あと五年うし毎年
 え利もまに三ぬ元して
 加合拾ぬぬくも併古
 何刻とぬ分と旨
 旨云 一刻五分より二七九
 術云 十帯銀用年と
 常の用年と三乗四乗

は四式と末で得商八六
 七七とよりて元元の一
 と除得二五二二七九は
 内以の元元く分引と
 持の旨と旨なり
 三乗し法の事を書ふ
 畧又用年と末及用一
 と引は内今今元元予が
 利の元と多利盤の術と
 可ふ 利をすましく通り
 なくとも五名と四年傳り
 拾名と二年六升八合を付
 何刻と利とぬ分と旨
 旨云 分二刻とぬ分と旨
 術云 十石と二年六升八合

旨云 右日あ

術云 本利とた拾式石年昇一合
 六分と重五石と利二四八三二と重と
 重と重商と一と重法と一と重及け
 合と重法と重と引得て一四八三三と
 有て重二と一と重法と初あと二度重
 合一と重別と又初次の重法二二と重
 初あと重倍と二二と重法と二と重と
 重四と重と重と重一と重四と重
 重法と重と引得て一〇四八三三と重
 重と重と二二と重二初と重と重と

二とけ合加して二二〇〇と重は内二二
 斗と二と重三六〇と重は内二六〇なり
 初商と一とけ三六〇と重別と初次
 の商の二と重合一四四と重と重と重と
 三六四とけて五二四一六と重初今重
 二と九九と一と二五の十引二二と重引
 一二と一引二六の十二引掛と重と重と
 重合五石と六重と拾名九斗式升九合
 九斗二升五合何刻とぬ分と旨
 旨云 右日あ
 術云 本利とた拾名九斗式升九合

